

# 競技注意事項

## 1. 規則

- ①競技は 2026 年度（一財）日本陸上競技連盟規則、及び本競技会要項、申し合わせ事項に準ずる。
- ②競技に使用するシューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）は、WA シューズリスト承認であること。ただし、サークルから行われる投擲種目（砲丸投）は、競技用靴に関する規程の適用対象から除外する。
- ③スタートルールに関しては、日本陸上競技連盟規則 TR16.7 の項目により以下の通りとする。音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2 回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外を行うものではない。
- ④走高跳以外のフィールド種目については、3 回の試技をもって終了とする。

## 2. 練習について

- ①練習は、競技場内走路および競技場外周で行い、一般の方がいることを忘れず、危険防止に十分注意して行うこと。
- ②フィールド競技の練習は、競技開始前に競技役員の指示により競技場内で行う。
- ③駐車場等でのウォーミングアップ、投てき練習は禁止する。
- ④バックストレートでの練習は競技に支障のない限り認める。
- ⑤8:45 まで競技場内を練習に開放する。それ以降は競技場内走路、競技場外周、バックストレート等を使用すること。

## 3. 招集について

- ①招集場所は、メインスタンド裏に設ける。
- ②招集時間及び完了時間に関しては下記の通りとする。

### トラック種目

| 招集 開始時間       | 招集 完了時間       | 現地集合時間 |
|---------------|---------------|--------|
| 競技開始 30 分前 開始 | 競技開始 15 分前 完了 | 10 分前  |

### フィールド種目

| 招集 開始         | 招集 完了         | 現地集合時間 |
|---------------|---------------|--------|
| 競技開始 45 分前 開始 | 競技開始 30 分前 完了 | 25 分前  |

- ③招集は 1 回で、上記の時刻までに競技者本人（代理人は認めない）が招集所に集合し、競技者係から点呼を受ける。招集確認を受けた競技者は、競技者係の指示に従い、スタート地点・フィールド試技待機場所へ行き、係の点呼を受ける。招集は、1 回のみで遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。
- ④全ての競技者は、自身の競技用上衣に装着したアスリートビブスを係に提示し、確認を受ける。  
\*100m、200m、400m、100H、110mH、4×100mR、走高跳、走幅跳、及び砲丸投種目の競技者は、競技に使用するシューズが WA リスト承認（または靴底厚さ測定値が規定内）であること。  
\*WA シューズリスト以外の場合、800m 以上のトラック種目に関しては、靴底厚さが 20mm 以内であること。参加者全員のシューズチェック（検査）は、実施しない。  
\*各確認完了競技者は競技者係の誘導・指示により、スタート位置に移動する。なお、アップ時の着衣等は持参した用具袋にまとめ、係りから指示された場所に置き、スタート待機する。  
\*全てのトラック競技者には確認完了後、写真判定用『腰ナンバー標識』を配付する。リレー種目は第 4 走者のみ。この写真判定用『腰ナンバー標識』は競技終了後ゴール付近で回収する。

## 4. 入退場について

- ①競技場への入場についてはマーシャルの指示に従う。
- ②トラック競技は、ゴールしたのち速やかに各校の待機場所に戻る。
- ③フィールド競技は、競技終了後審判員の指示で退場する。

## 5. 競技用シューズについて（砲丸投）

本競技会は、競技者が日本陸上競技連盟競技規則 TR5.2 に適合したWAシューズリストで承認されている市販のシューズを競技に使用していることを前提としているので、参加者全員のシューズチェック（検査）は実施しない。

＜シューズに関する主要規則の確認＞

- \*靴底厚さは、フィールド種目と 800m以上の種目は 20mm以内。
- \*靴底は、11 本以内のスパイクを取り付けられる構造。
- \*11 個までの任意のスパイクを使用することができ、その取り付け位置は 11 ヶ所を超えない。
- \*スパイクの長さは、9mm以下（走高跳は 12mm以下）、その長さの 1/2 が 4mm 四方の定規に適合するように作られたもの。
- \*購入した状態で使用することが前提で、インナーソールの変更等靴底厚さが変わるカスタマイズはWAの事前承認を得たもの。

原則として、WAリスト承認外（または靴底厚さ測定値が規定外）シューズの場合、競走・試技は認められません。競技前・中に審判員が疑義を抱いた競技用靴に対し、競技後に審判長の権限で検査をすることがあります。シューズ規則（TR5.2）規定外のシューズを使用し競走・試技した場合、指導・失格（参考記録として連絡）扱いとします。県大会以上出場の場合、厳格にこのルールが適応されるので事前に使用器具とともに確認・準備しておいてください。ルールが変更となり、**投てきシューズの扱いはルール適用外となりました。なお長距離レースの厚底使用は助力となりますのでこの項を適用します。**

6. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは、千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定で、本年各支部に割り当てられたものを使用する。（男子は白地に黒色数字、女子は白地に赤色数字）
- ②アスリートビブスは、胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり、曲げたりしてはならない。ただし、跳躍種目については1枚を胸につける、また走高跳は胸又は背に1枚つけるだけでよい。

7. 800mのスタート方法について

本競技会において、男子共通 800mにおいてはセパレートレーンスタート、女子共通 800mにおいてはオープンレーンスタートを採用する。セパレートレーンスタートに関しては、スタート後自分のレーンを走り、100m過ぎの地点からオープンレーンとなる。なお、その際ブレイクラインを区別する黄色の代用縁石をまたいだり、踏み越したりしてはならない。

8. 3000mのスタート方法について

本大会は、3000mにおいてグループスタートを採用する。その場合のスタート方法は、各組のレーン番号の2/3 までがインスタート、残りの1/3 がアウトスタートとなる。なお、その際スタート10m以内にはイン・アウトを分離する縁石はおかない。

9. 走高跳のバーの上げ方

走高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。（天候、その他諸事情によって変更する場合もある）

|       | 練習   | 1    | 2    | 3    | 4    | 5    | 6    | … | 10   |                 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|---|------|-----------------|
| 男子走高跳 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | … | 1m75 | 以後の高さは審判長の指示による |
| 女子走高跳 | 1m15 | 1m20 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 |   |      |                 |

※第1位に関わる競技者が同成績の場合は、第1位決定のためのバーの上げまたは下げる範囲は2cmとする。

10. フィールド競技の試技時間

フィールド競技の試技時間は1人60秒以内とする。なお、走高跳については、残りの試技者の数で試技時間に変更となる。

11. リレー競技について（リレーオーダー用紙は招集所に準備）

- \*リレー競技のオーダー用紙は、その競技の招集完了時刻の10分前までに、招集所に提出する。なお、オーダー用紙はホームページのPDFを印刷して使用するか当日招集所で配布する。
- \*リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- \*リレーのマーカーの使用は1カ所（TR24.4を適用）とし、各中継点の係が配布する。なおマーカーは主催者が準備したものとする。

## 12. 計時

- ①この競技会の記録については、（公財）日本陸上競技連盟への公認申請を行います。また、今回の記録は千葉県中学校通信陸上競技大会・千葉県中学校総合体育大会陸上競技大会・千葉県中学校新人陸上競技大会の参加標準記録として適用されます。
- ②トラック種目の競走競技は、すべてのレースにおいて写真判定装置を採用する。
- ③写真判定装置は、同一記録の場合0.001秒での着差判定を行う。
- ④競技記録判定が確定次第、随時記録結果発表を行うとともに速報サイトを設置してわかるようにしていく。後日決勝・記録一覧表をホームページに掲載する。

## 13. レーン及び走路順

- ①トラック競技の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。
- ②セパレートレーンで行う競技で、全レーンを使用しない場合は、常に第1レーンをあけて第2レーンより使用する。

## 14. 用器具

すべて競技場備え付けのものを使用すること。

## 15. 抗議

日本陸上競技連盟、競技規規則 TR8 による。（記録発表後30分以内）※今年度より預託金が20,000円となっている。

## 16. その他

- ①競技場内には、選手及び生徒のみ通行可能とする。保護者の観戦はスタンドのみとする。
- ②各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。
- ③ゴミについては必ず各自で持ち帰ること。競技場、駅などに絶対に捨てないこと。
- ④競技場内の正面スタンド椅子席に陣地を張ることは禁止する。
- ⑤応援は各陣地での待機場所のみとし、声を出してもよい。
- ⑥正面スタンド下は通行禁止とする。（スタンドを通して競技場所に移動する）
- ⑦プログラム記載内容の訂正は各日8:10までとする。記載事項の訂正のみとするものとし、組数や種目の変更、新たな追加等は主催者側の番組編成の誤り以外は受け付けない。役員打ち合わせは、8:15から正面スタンド下で行う。
- ⑧競技中に発生した事故及びケガ等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- ⑨記録については各種目上位選手のみ発表する。掲示についてはしないが、速報としてアップしていくのでそれをもって記録を確認していくこと。また、後日、ホームページに結果一覧表を掲載するので確認すること。
- ⑩公園内の他の施設及び野球場は借用していないので、立ち入らないようにすること。
- ⑪一般のお客様もいますので安全に注意して行うよう努めていくこと。